

だいせんの偉人先人たち

いとう とくごろう 伊藤 徳五郎

【分類】 じゅうどうか 柔道家

【生没年】 1878年 ~ 1939年

(めいじ 明治11年) (しょうわ 昭和14年)



みなみならおかむら 南檜岡村生まれ。本格的に柔道を始めたのは大学に進学してからであり、24歳でこうどうかん 講道館に入り、そうし 創始者であるかのうじごろう 嘉納治五郎のまなでし 愛弟子となった。柔道一筋の猛烈な練習に明け暮れた徳五郎は、してんのう 四天王のひとりと呼ばれるようになり、とうきょうしはんがっこう 東京師範学校やとうきょうていこくだいがく 東京帝国大学などでじゅうどうこうし 柔道講師を務めたほか、柔道を通して高名の人たちとの出会いをはたしている。明治41年にアメリカに渡り、シアトルに道場を開き、柔道を広めた。ジョンソンなどとの名勝負を残してたいしょう 大正11年にききょう 帰郷、県柔道界でも活躍した。

出典 『先人の歩み中』1979、大曲市仙北郡校長会／編
社会科副読本わたしたちの大仙市